



富士駅前 昭和34年

(現在の富士駅北口周辺)



富士市の玄関口であり、憩いの場

昭和16年、第二次世界大戦開戦の年に、父が富士駅前で青果店を開業しました。私は、街の発展と、富士駅前を行き交う人たちを見て育ちました。昭和39年に現在の駅舎が完成し、昭和40年代には新しい店が次々と駅前に出店するなど、駅前通りは買い物客でにぎわいました。

写真中央は駅出口で、向かって左側は東海道本線・身延線の改札口です。駅前にはロータリーのある広場でした。この広場は広がったので、甲子祭やどんどん焼きなど、町内の催し物会場としてよく活用させてもらいましたよ。

毎年甲子祭では、この広場に置いた山車の上で芸者さんたちが踊りを披露し、大勢の見物客が歓声を上げていました。私も、若いころは青年団として、張り切ってお祭りを盛り上げた一人です。

ことしも、もうすぐ甲子祭です。少しずつ街並みもお祭りの様子も変わってきていますが、途切れることなく伝統が受け継がれていくことは、本当にうれしいですね。駅前通りがみんなの笑顔が集まる場所であるよう、これからも見守っていききたいと思います。



富士駅前青果店を営み、
当時をよく知る

稲葉 政夫さん
(本町3)

こちら編集室

今回、特集記事の取材で放課後児童クラブの活動の様子を見てきました。その中で驚いたのは、「遊びを中心とした活動内容が豊富なこと」、「指導員をはじめ地域の人が一体となって協力していること」でした。この環境の中で、子どもたちは毎日たくさんの体験や発見をしています。私の子どものごころとは、環境が違い、何だかうらやましくなりました。そして、放課後児童クラブで育った子どもたちは、将来どんな大人になるんだろう…と、とても楽しみになりました。(に)

人口	244,211人	(前月比+48)
男	121,115人	(+37)
女	123,096人	(+11)
世帯	89,670世帯	(+124)

6月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456